

平成 25 年度

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価 報告書

平成 27 年 2 月

中野市教育委員会

- 1 中野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 27 条の規定に基づき実施するものです。

（参考）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関係条文抜粋）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 点検・評価の対象は、平成 25 年度の事務事業とし、本市において実施している事務事業評価(平成 26 年度)をもって点検・評価とする。

《点検・評価対象事業一覧》

番号	事務事業名	評価	担当課	頁
1	教職員住宅管理事業	現状維持	学校教育課	1
2	奨学基金繰出金	現状維持	学校教育課	2
3	小学校管理事業	現状維持	学校教育課	3
4	小学校運営事業	現状維持	学校教育課	4
5	小学校維持整備事業	現状維持	学校教育課	5
6	小学校一般教育振興事業	現状維持	学校教育課	6
7	小学校教育扶助事業	現状維持	学校教育課	7
8	小学校教育用コンピュータ設置事業	充実・拡大	学校教育課	8
9	特色ある小学校づくり事業	充実・拡大	学校教育課	9
10	中学校管理事業	現状維持	学校教育課	10
11	中学校運営事業	現状維持	学校教育課	11
12	中学校維持整備事業	現状維持	学校教育課	12
13	中学校一般教育振興事業	現状維持	学校教育課	13
14	英語指導助手招致事業	充実・拡大	学校教育課	14
15	中学校教育扶助事業	現状維持	学校教育課	15
16	中学校教育用コンピュータ設置事業	充実・拡大	学校教育課	16
17	特色ある中学校づくり事業	充実・拡大	学校教育課	17
18	学校給食センター管理事業	現状維持	学校給食センター	18
19	学校給食センター運営事業	充実・拡大	学校給食センター	19
20	生涯学習推進事業	現状維持	生涯学習課	20

21	文化財保護・保存管理事業	現状維持	生涯学習課	21
22	埋蔵文化財発掘調査事業	現状維持	生涯学習課	22
23	高遠山古墳保存整備事業	現状維持	生涯学習課	23
24	山田家資料館地域資料調査事業	現状維持	生涯学習課	24
25	中央公民館管理事業	現状維持	中央公民館	25
26	中央生涯学習推進事業	現状維持	中央公民館	26
27	中央公民館維持整備事業	現状維持	中央公民館	27
28	北部公民館管理事業	現状維持	北部公民館	28
29	北部公民館生涯学習推進事業	現状維持	北部公民館	29
30	北部公民館維持整備事業	現状維持	北部公民館	30
31	西部公民館管理事業	現状維持	西部公民館	31
32	西部公民館生涯学習推進事業	現状維持	西部公民館	32
33	西部公民館維持整備事業	現状維持	西部公民館	33
34	豊田公民館管理事業	現状維持	豊田公民館	34
35	永田地区館管理事業	現状維持	豊田公民館	35
36	豊田生涯学習推進事業	現状維持	豊田公民館	36
37	図書館管理事業	現状維持	図書館	37
38	図書館運営事業	充実・拡大	図書館	38
39	ブックスタート事業	現状維持	図書館	39
40	図書館維持整備事業	現状維持	図書館	40
41	博物館管理事業	充実・拡大	博物館	41
42	博物館運営事業	現状維持	博物館	42

3 平成 25 年度に開催した教育委員会の会議及び委員の主な活動状況は、43 頁以降のとおりです。

事務事業名		教職員住宅管理事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	総務係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8206
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	1項	教育総務費	実施期間	
	目	3目	教職員住宅施設費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	教職員	福利厚生を図る。
現状・課題	教職員住宅の修繕や維持管理を計画的に行っている。	
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	中野市教職員住宅管理規則
事務事業概要	教職員住宅の維持管理を行う。	
平成25年度 の内容	活動内容	活動指標
	教職員住宅の維持管理	37戸

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
教職員住宅希望者の入居率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		16,426,000	62,625,000
補正予算		円			7,049,000	
合計		円		16,426,000	69,674,000	3,010,000
決算（見込）額 A		円		16,351,991	69,378,488	3,010,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		4,990,241	4,477,000	
	一般財源	円		11,361,750	64,901,488	3,010,000
職員数	正規職員	人		0.59	0.59	0.59
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		3,902,850	3,894,590	3,894,590
総事業費 A+B		円		20,254,841	73,273,078	6,904,590
市民1人当たりコスト		円		448	1,638	156

目標に対する 成果の状況分析	人事異動の内容等により影響されるので年度により差が生じる。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き、福利厚生を図る。
	—	

事務事業名		奨学基金繰出金		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	課・室	学校教育課
	項	2項	高等学校以上の教育の充実	係	総務係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8206
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	1項	教育総務費	未計上	
	目	4目	奨学基金費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	高等学校及び大学等に進学予定または在学する者	次代を担う優秀で意欲のある人材の育成を奨励する。
現状・課題	基金に不足が生じるため、一般会計から繰入をしている。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市奨学基金の設置、管理及び処分に関する条例
事務事業概要	奨学金不足分を繰り出している。奨学金の貸与及び償還事務を行う。	
平成25年度の内容	活動内容	活動指標
	教育委員会の審査	1回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
奨学金新規貸与者数	人	8	8	達成	8

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		11,010,000	11,008,000
補正予算		円				
合計		円		11,010,000	11,008,000	11,009,000
決算（見込）額 A			円	11,007,995	11,006,612	11,009,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		16,355	16,489	2,000
	一般財源	円		10,991,640	10,990,123	11,007,000
職員数	正規職員	人		0.55	0.55	0.55
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		3,638,250	3,630,550	3,630,550
総事業費 A+B			円	14,646,245	14,637,162	14,639,550
市民1人当たりコスト			円	324	327	330

目標に対する成果の状況分析	新規貸与者数は毎年度8名を予定しており、達成している。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き、次代を担う優秀で意欲のある人材の育成を奨励する。
	—	

事務事業名		小学校管理事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	2項	小学校費	実施期間	
	目	1目	小学校管理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	児童	老朽化した設備を更新し、教育設備の充実を図る。	
現状・課題	計画的に備品や消耗品の購入を行ったり、設備の修繕を行うなどし、適正な施設の維持管理を行っている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法	
事務事業概要	小学校施設・設備の維持管理を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	学校設備の保安、点検、保守等業務の委託		11校
	学校施設管理に係る備品の購入		11校
	施設維持に係る光熱水費、燃料費、電話料等		11校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
管理備品の購入	校	11	11	達成	11
児童用机・椅子の更新	校	1	1	達成	2

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		154,418,000	76,718,000
補正予算		円				
合計		円		154,418,000	76,718,000	97,830,000
決算（見込）額 A			円	145,049,922	70,824,509	97,830,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円		5,800,000		
	その他特定財源	円		873,014	31,891	1,004,000
	一般財源	円		138,376,908	70,792,618	96,826,000
職員数	正規職員	人		2.19	0.96	0.96
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		14,486,850	6,336,960	6,336,960
総事業費 A+B			円	159,536,772	77,161,469	104,166,960
市民1人当たりコスト			円	3,530	1,725	2,350

目標に対する 成果の状況分析	計画に基づく備品購入等を行い、適正な設備整備が行えた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き計画に基づく備品購入等を行い、適正な設備整備を行う。
	—	

事務事業名		小学校運営事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	2項	小学校費	実施期間	
	目	1目	小学校管理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	児童・教職員	健康の増進を図り、安全な環境で教育活動を行う。	
	就学予定者（来入児）	就学前健康診断等により、安心・安全な就学に備える。	
現状・課題	健康診断、各種検診、スクールバスの運行等により、安全な就学環境を整えている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法、学校保健安全法	
事務事業概要	児童の就学、児童・教職員の健康の保持増進等の学校運営を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	児童及び教職員の健康診断・検診等		11校
	スクールバスの運行		4校
	日本スポーツ振興センター学校災害共済給付事務		11校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
健康診断・検診結果に基づく指導率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円			66,952,000
補正予算		円				
合計		円			66,952,000	66,799,000
決算（見込）額 A			円		63,420,852	66,799,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				1,000
	一般財源	円			63,420,852	66,798,000
職員数	正規職員	人			1.23	1.23
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円			8,119,230	8,119,230
総事業費 A+B			円		71,540,082	74,918,230
市民1人当たりコスト			円		1,599	1,690

目標に対する成果の状況分析	児童・教職員及び就学予定者に対し、適正な時期に健康診断等を実施した。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き、児童・教職員及び就学予定者に対し、適正な時期に健康診断等を実施する。
	—	

事務事業名		小学校維持整備事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	施設係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8204
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	2項	小学校費	実施期間	
	目	1目	小学校管理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	児童・教職員	快適で安全な学習環境を提供する。	
	施設利用者、災害避難所として利用する市民	安全な施設として提供する。	
現状・課題	学校施設の経年劣化及び地震等による破損を防ぎ、児童などの快適で安全な学習環境を維持整備している。屋内運動場の非構造部材耐震化工事などを計画的に実施している。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校保健安全法第26条	
事務事業概要	学習環境の向上、災害に備えた防災強化などの工事を実施する。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	屋内運動場非構造部材耐震化工事		4校
	保健室シャワーユニット設置工事		2校
	図書室及び音楽室エアコン設置工事		2校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
屋内運動場非構造部材の耐震化率	%	36	36	達成	73
図書室及び音楽室のエアコン設置率	%	18	18	達成	36

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		77,233,000	147,358,000
補正予算		円				
合計		円		77,233,000	147,358,000	131,455,000
決算（見込）額 A		円		72,219,648	137,442,010	131,455,000
財源内訳	国庫支出金	円			8,033,000	34,540,000
	県支出金	円				
	市債	円		10,000,000	17,800,000	33,800,000
	その他特定財源	円		2,184,000		
	一般財源	円		60,035,648	111,609,010	63,115,000
職員数	正規職員	人		0.58	0.58	0.58
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		3,836,700	3,828,580	3,828,580
総事業費 A+B		円		76,056,348	141,270,590	135,283,580
市民1人当たりコスト		円		1,683	3,157	3,052

目標に対する成果の状況分析	学習環境の向上及び屋内運動場の防災機能が強化した。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き工事を計画的に行う。
	重点化	



事務事業名		小学校一般教育振興事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	2項	小学校費	実施期間	
	目	2目	小学校教育振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	児童	心身の発達に応じた教育を受ける。	
	就学予定者（来入見）	就学相談等により、適正な就学に備える。	
現状・課題	教育振興に係る備品、消耗品の整備や、就学相談等を行っている。		
市が行う理由 及びその根拠	義務的自治事務	教育基本法、学校教育法	
事務事業概要	教育振興に係る備品、消耗品の整備や、就学相談等を行っている。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	教育振興に係る備品、消耗品の整備		11校
	「夢の教室」の開催		1校
	学校人権教育の実施		11校
	読書指導員、特別支援教育支援員の配置		11校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
教育振興教具等の購入による教育を受けた児童率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		73,996,000	75,885,000
補正予算		円				
合計		円		73,996,000	75,885,000	79,220,000
財源内訳	決算（見込）額 A		円	71,287,733	74,328,070	79,220,000
	国庫支出金	円		349,000	750,000	750,000
	県支出金	円		333,000		
	市債	円				
	その他特定財源	円		210,000	200,000	110,000
職員数	一般財源	円		70,395,733	73,378,070	78,360,000
	正規職員	人		0.44	0.44	0.44
	嘱託職員	人		2.00	2.00	2.00
	人件費 B	円		7,198,600	7,178,440	7,178,440
	総事業費 A+B	円		78,486,333	81,506,510	86,398,440
	市民1人当たりコスト	円		1,737	1,822	1,949

目標に対する 成果の状況分析	児童の心身の発達に応じた教育を行った。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き児童の心身の発達に応じた教育を行う。
	重点化	

事務事業名		小学校教育扶助事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	2項	小学校費	実施期間	
	目	1目	小学校管理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者	児童が学校生活を円滑に送れるようにする。	
	特別支援学級に入級する児童等の保護者	経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図る。	
現状・課題	経済的困窮世帯及び特別支援学級に入級する児童が増加し、それに伴って対象者も増えているため、事務処理量は増大している。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法	
事務事業概要	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者及び特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な援助を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	要保護・準要保護児童就学援助費の支給		208人
	特別支援教育就学奨励費の支給		79人

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
支給要件を満たし支給を希望する者への支給率	%	100	100	達成	100

	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		19,560,000	20,417,000
補正予算		円				
合計		円		19,560,000	20,417,000	22,940,000
決算（見込）額	A	円		16,233,364	18,803,860	22,940,000
	財源内訳					
職員数	国庫支出金	円		833,448	986,677	582,000
	県支出金	円		134,000	75,000	93,000
	市債	円				
	その他特定財源	円				
総事業費	一般財源	円		15,265,916	17,742,183	22,265,000
	正規職員	人		0.24	0.24	0.24
	嘱託職員	人				
市民1人当たりコスト	人件費 B	円		1,587,600	1,584,240	1,584,240
	A+B	円		17,820,964	20,388,100	24,524,240
		円		394	456	553

目標に対する成果の状況分析	児童が、等しくその能力に応じた教育を受ける機会を得ることができた。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き児童が、等しくその能力に応じた教育を受ける機会を得られるよう支援を行う。
	—	

事務事業名		小学校教育用コンピュータ設置事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	1項	教育総務費	実施期間	
	目	2目	教育委員会事務局費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	児童	ICTを活用した情報学習の充実を図る。	
現状・課題	多額の費用が掛かるため、借上げ方式により計画的な導入をしている。運用面において、より一層のセキュリティの確保や教職員のICTリテラシーの向上を図る必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	教育基本法	
事務事業概要	教育用コンピュータ等の借上やセンターサーバの保守管理を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	教育用コンピュータ等保守委託		一式
	教育用コンピュータ等借上		一式

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
ICT活用の教育を受けられる児童率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		65,050,000	28,980,000
補正予算		円				
合計		円		65,050,000	28,980,000	62,495,000
決算（見込）額 A			円	63,195,608	27,759,340	62,495,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		63,195,608	27,759,340	62,495,000
職員数	正規職員	人		0.24	0.24	0.24
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		1,587,600	1,584,240	1,584,240
総事業費 A+B			円	64,783,208	29,343,580	64,079,240
市民1人当たりコスト			円	1,434	656	1,446

目標に対する成果の状況分析	確かな学力をより効果的に育成するためには、協働型・双方向型の授業革新が必要であり、より一層の充実が望まれる。	
平成26年度以降の実施方針	充実・拡大	国の第2期教育振興基本計画の整備目標達成に向け、段階的に整備を進める。
	—	

事務事業名		特色ある小学校づくり事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	課・室	学校教育課
	項	1項	小・中学校教育の充実	係	学校教育係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8205
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	1項	教育総務費	計上	
	目	2目	教育委員会事務局費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	児童	意図（どのような状態にしたいのか）	生きる力を育む教育の充実を図る。
現状・課題	一人ひとりを大切にしたい楽しい学校づくりをめざし、地域と連携した体験学習や交流活動など、個性ある学校独自の事業を行っている。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	地域と連携した体験学習等を通じて心の教育の充実を図るため		
事務事業概要	各学校が創意工夫を活かした特色ある教育、特色ある学校づくりの負担金の交付や、図書の充実や総合学習の支援を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	学校図書の購入		11校	
	特色ある学校づくり事業負担金の交付		11校	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
地域と連携した教育活動の実施率	%	100	100	達成	100

	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	事務事業 コスト	予算額	当初予算	円	5,536,000	5,421,000
補正予算			円			
合計			円	5,536,000	5,421,000	5,316,000
決算（見込）額 A		円	5,464,286	5,434,448	5,316,000	
財源内訳		国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
		一般財源	円	5,464,286	5,434,448	5,316,000
職員数		正規職員	人	0.09	0.09	0.09
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円	595,350	594,090	594,090	
総事業費 A+B		円	6,059,636	6,028,538	5,910,090	
市民1人当たりコスト		円	134	135	133	

目標に対する 成果の状況分析	各学校が創意工夫を活かした特色ある教育、学校づくりができた。	
平成26年度以降 の実施方針	充実・拡大	学校と地域の連携を強化し、地域全体で子どもを育む環境づくりの充実を図る。
	—	

事務事業名		中学校管理事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	1項	教育総務費	実施期間	
	目	2目	教育委員会事務局費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	生徒	老朽化した設備を更新し、教育設備の充実を図る。	
現状・課題	計画的に備品や消耗品の購入を行ったり、設備の修繕を行うなどし、適正な施設の維持管理を行っている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法	
事務事業概要	中学校施設の維持管理を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	学校設備の保安、点検、保守等業務の委託		4校
	学校施設管理に係る備品の購入		4校
	施設維持に係る光熱水費、燃料費、電話料等		4校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
管理備品の購入	校	4	4	達成	4
児童用机・椅子の更新	校	1	1	達成	1

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		80,861,000	47,345,000
補正予算		円				
合計		円		80,861,000	47,345,000	59,771,000
決算（見込）額 A			円	78,236,011	44,846,952	59,771,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		381,452	45,519	520,000
	一般財源	円		77,854,559	44,801,433	59,251,000
職員数	正規職員	人		2.19	0.96	0.96
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		14,486,850	6,336,960	6,336,960
総事業費 A+B			円	92,722,861	51,183,912	66,107,960
市民1人当たりコスト			円	2,052	1,144	1,492

目標に対する 成果の状況分析	計画に基づく備品購入等を行い、適正な設備整備が行えた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き計画に基づく備品購入等を行い、適正な設備整備を行う。
	—	

事務事業名		中学校運営事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	課・室	学校教育課
	項	1項	小・中学校教育の充実	係	学校教育係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8205
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	1項	教育総務費	未計上	
	目	2目	教育委員会事務局費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	生徒・教職員	意図（どのような状態にしたいのか）	健康の増進を図り、安全な環境で教育活動を行う。
	現状・課題	健康診断、各種検診、遠距離通学支援等により、安全な就学環境を整えている。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法		
事務事業概要	生徒の就学、児童・教職員の健康の保持増進等の学校運営を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	生徒及び教職員の健康診断・検診等		4校	
	遠距離通学定期購入		4校	
	日本スポーツ振興センター学校災害共済給付事務		4校	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
健康診断・検診結果に基づく指導率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円			35,489,000
補正予算		円				
合計		円			35,489,000	35,384,000
決算（見込）額 A			円		34,044,665	35,384,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				1,000
	一般財源	円			34,044,665	35,383,000
職員数	正規職員	人			1.23	1.23
	嘱託職員	人			1.00	1.00
	人件費 B	円			10,256,230	10,256,230
総事業費 A+B			円		44,300,895	45,640,230
市民1人当たりコスト			円		990	1,030

目標に対する成果の状況分析	生徒・教職員に対し、適正な時期に健康診断等を実施した。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き生徒・教職員に対し、適正な時期に健康診断等を実施する。
	—	

事務事業名		中学校維持整備事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	施設係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8204
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	3項	中学校費	実施期間	
	目	1目	中学校管理費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	生徒・教職員	快適で安全な学習環境を提供する。	
	施設利用者、災害避難所として利用する市民	安全な施設として提供する。	
現状・課題	学校施設の経年劣化及び地震等による破損を防ぎ、生徒などの快適で安全な学習環境を維持整備している。屋内運動場の非構造部材耐震化工事などを計画的に実施している。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校保健安全法第26条	
事務事業概要	学習環境の向上、災害に備えた防災強化などの工事を実施する。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	屋内運動場非構造部材耐震化工事		1校
	図書室及び音楽室エアコン設置工事		1校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
屋内運動場非構造部材の耐震化率	%	25	25	達成	50
図書室及び音楽室のエアコン設置率	%	25	25	達成	50

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		14,453,000	46,858,000
補正予算		円				
合計		円		14,453,000	46,858,000	32,205,000
決算（見込）額 A		円		12,328,055	42,539,111	32,205,000
財源内訳	国庫支出金	円			7,118,000	6,066,000
	県支出金	円				
	市債	円		4,300,000		
	その他特定財源	円				
職員数	一般財源	円		8,028,055	35,421,111	26,139,000
	正規職員	人		0.58	0.58	0.58
	嘱託職員	人				
人件費 B		円		3,836,700	3,828,580	3,828,580
総事業費 A+B		円		16,164,755	46,367,691	36,033,580
市民1人当たりコスト		円		358	1,036	813

目標に対する成果の状況分析	学習環境の向上及び屋内運動場の防災機能が強化した。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き工事を計画的に行う。
	重点化	

事務事業名		中学校一般教育振興事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	1項	教育総務費	実施期間	
	目	2目	教育委員会事務局費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	生徒	心身の発達に応じた教育を受ける。	
現状・課題	教育振興に係る備品、消耗品の整備や、講演会等を行っている。		
市が行う理由 及びその根拠	義務的自治事務	教育基本法、学校教育法	
事務事業概要	教育振興に係る備品、消耗品の整備や、講演会等を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	教育振興に係る備品、消耗品の整備		4校
	中学生被爆地派遣		1校
	学校人権教育の実施		4校
	心の教室支援員、不登校対策指導員、特別支援教育支援員等の配置		4校

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
教育振興教具の購入による教育を受けた生徒率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		44,111,000	48,000,000
補正予算		円				
合計		円		44,111,000	48,000,000	46,971,000
財源内訳	決算（見込）額 A		円	44,752,313	44,327,113	46,971,000
	国庫支出金	円		116,000	250,000	250,000
	県支出金	円		984,000		
	市債	円				
	その他特定財源	円			30,180	
職員数	一般財源	円		43,652,313	44,046,933	46,721,000
	正規職員	人		0.44	0.44	0.44
	嘱託職員	人		4.00	4.00	4.00
	人件費 B	円		11,486,600	11,452,440	11,452,440
	総事業費 A+B	円		56,238,913	55,779,553	58,423,440
	市民1人当たりコスト	円		1,245	1,247	1,318

目標に対する 成果の状況分析	生徒の心身の発達に応じた教育を行った。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き生徒の心身の発達に応じた教育を行う。
	—	



事務事業名		英語指導助手招致事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	課・室	学校教育課
	項	1項	小・中学校教育の充実	係	総務係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8206
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	3項	中学校費	計上	
	目	2目	中学校教育振興費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	児童・生徒	意図（どのような状態にしたいのか）	ネイティブスピーカーに触れ、英語学習の楽しさや興味を持たせる。
	現状・課題	中学校4校に対しAETが3名のため、残りの1校はローテーションで対応している。		
市が行う理由及びその根拠	その他	小中学校の英語教育の充実を図るため。		
事務事業概要	AETの招致、学校との連絡調整、AETの活動支援を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	AETの配置		3名	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
AETの授業日数（3名）	日	638	638	達成	774

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		13,101,000	12,087,000
補正予算		円				
合計		円		13,101,000	12,087,000	15,260,000
決算（見込）額 A			円	12,064,645	11,708,432	15,260,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		12,064,645	11,708,432	15,260,000
職員数	正規職員	人		0.45	0.45	0.45
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		2,976,750	2,970,450	2,970,450
総事業費 A+B		円		15,041,395	14,678,882	18,230,450
市民1人当たりコスト		円		333	328	411

目標に対する 成果の状況分析	AET 3名を各中学校に配置し、英語教育の充実を図った。	
平成26年度以降 の実施方針	充実・拡大	AETを3名から4名に増員する。
	—	

事務事業名		中学校教育扶助事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	課・室	学校教育課
	項	1項	小・中学校教育の充実	係	学校教育係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8205
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	1項	教育総務費	計上	
	目	2目	教育委員会事務局費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者	生徒が学校生活を円滑に送れるようにする。	
	特別支援学級に入級する生徒等の保護者	経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図る。	
現状・課題	経済的困窮世帯及び特別支援学級に入級する生徒が増加し、それに伴って対象者も増えているため、事務処理量は増大している。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	学校教育法	
事務事業概要	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者及び特別支援学級に就学する児童の保護者に対し必要な援助を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	要保護・準要保護児童就学援助費の支給		140人
	特別支援教育就学奨励費の支給		41人

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
支給要件を満たし支給を希望する者への支給率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		21,955,000	23,120,000
補正予算		円				
合計		円		21,955,000	23,120,000	25,175,000
財源内訳	決算（見込）額 A		円	21,635,971	21,148,369	25,175,000
	国庫支出金	円		618,552	802,323	454,000
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
職員数	一般財源	円		21,017,419	20,346,046	24,721,000
	正規職員	人		0.24	0.24	0.24
	嘱託職員	人				
人件費 B		円		1,587,600	1,584,240	1,584,240
総事業費 A+B		円		23,223,571	22,732,609	26,759,240
市民1人当たりコスト		円		514	508	604

目標に対する成果の状況分析	生徒が、等しくその能力に応じた教育を受ける機会を得ることができた。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	引き続き生徒が、等しくその能力に応じた教育を受ける機会を得られるよう支援を行う。
	－	

事務事業名		中学校教育用コンピュータ設置事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	学校教育係
	項	1項	小・中学校教育の充実	内線電話	8205
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	1項	教育総務費	実施期間	
	目	2目	教育委員会事務局費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	生徒	ICTを活用した情報学習の充実を図る。	
現状・課題	多額の費用が掛かるため、借上げ方式により計画的な導入をしている。運用面において、より一層のセキュリティの確保や教職員のICTリテラシーの向上を図る必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	教育基本法	
事務事業概要	教育用コンピュータ等の借上やセンターサーバの保守管理を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	教育用コンピュータ等保守委託		一式
	教育用コンピュータ等借上		一式

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
ICT活用の教育を受けられる生徒率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		37,539,000	13,347,000
補正予算		円				
合計		円		37,539,000	13,347,000	35,967,000
決算（見込）額 A		円		30,643,305	13,455,134	35,967,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		30,643,305	13,455,134	35,967,000
職員数	正規職員	人		0.24	0.24	0.24
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		1,587,600	1,584,240	1,584,240
総事業費 A+B		円		32,230,905	15,039,374	37,551,240
市民1人当たりコスト		円		713	336	847

目標に対する成果の状況分析	確かな学力をより効果的に育成するためには、協働型・双方向型の授業革新が必要であり、より一層の充実が望まれる。	
平成26年度以降の実施方針	充実・拡大	国の第2期教育振興基本計画の整備目標達成に向け、段階的に整備を進める。
	—	

事務事業名		特色ある中学校づくり事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	課・室	学校教育課
	項	1項	小・中学校教育の充実	係	学校教育係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8205
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	1項	教育総務費	計上	
	目	2目	教育委員会事務局費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	生徒	意図（どのような状態にしたいのか）	生きる力を育む教育の充実を図る。
現状・課題	一人ひとりを大切にしたい楽しい学校づくりをめざし、地域と連携した体験学習や交流活動など、個性ある学校独自の事業を行っている。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	地域と連携した体験学習等を通じて心の教育の充実を図るため		
事務事業概要	各学校が創意工夫を活かした、特色ある教育、特色ある学校づくりをするため、図書の実施や総合学習の充実を図る。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	学校図書の購入		4校	
	特色ある学校づくり事業負担金の交付		4校	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
地域と連携した教育活動の実施率	%	100	100	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		2,569,000	2,569,000
補正予算		円				
合計		円		2,569,000	2,569,000	2,597,000
決算（見込）額 A			円	2,559,714	2,561,260	2,597,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		2,559,714	2,561,260	2,597,000
職員数	正規職員	人		0.09	0.09	0.09
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		595,350	594,090	594,090
総事業費 A+B			円	3,155,064	3,155,350	3,191,090
市民1人当たりコスト			円	70	71	72

目標に対する成果の状況分析	各学校が創意工夫を活かした特色ある教育、学校づくりができた。	
平成26年度以降の実施方針	充実・拡大	学校と地域の連携を強化し、地域全体で子どもを育む環境づくりの充実を図る。
	—	

事務事業名		学校給食センター管理事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校給食センター
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	南部・北部・豊田
	項	2項	学校給食の充実	内線電話	8018・8020・8022
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	5項	学校給食費	実施期間	
	目	1目	学校給食センター費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	小中学校児童	安全で安心な学校給食を食べてもらう。	
現状・課題	安全で安心な学校給食を調理し提供できるよう、調理機器のメンテナンス・修繕、施設の修繕を行う。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	学校給食法、中野市学校給食センター条例	
事務事業概要	設備点検等の施設管理を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	施設の修繕		4件
	調理機器のメンテナンス・修繕		15件

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
給食対象の児童数	人/日	—	3,983	—	3,983

事務事業 コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		335,672,000	51,114,000
補正予算		円		90,000		
合計		円		335,762,000	51,114,000	56,221,000
決算（見込）額 A			円	329,949,358	49,979,246	56,221,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		239,004,788	276,236	38,000
職員数	一般財源	円		90,944,570	49,703,010	56,183,000
	正規職員	人		9.10	2.50	2.50
	嘱託職員	人		15.00	0.30	0.30
人件費 B		円		92,356,500	17,143,600	17,143,600
総事業費 A+B		円		422,305,858	67,122,846	73,364,600
市民1人当たりコスト		円		9,345	1,500	1,655

目標に対する 成果の状況分析	提供数誤り、調理・配送の遅延などなく、安定した学校給食の提供を行うことができた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	提供数誤り、調理・配送の遅延などなく、安定した学校給食の提供を行う。
	—	

事務事業名		学校給食センター運営事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会
総合計画体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	学校給食センター
	節	1節	心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育	係	南部・北部・豊田
	項	2項	学校給食の充実	内線電話	8018・8020・8022
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	5項	学校給食費	実施期間	
	目	1目	学校給食センター費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	小中学校児童	地元農産物を使用した、安価で安全・安心な学校給食を食べてもらう。
現状・課題	材料費等食材の高騰により、児童の年齢に応じた栄養基準を満たす献立の作成が難しくなってきた。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	学校給食法、中野市学校給食センター条例
事務事業概要	地元農産物の食材を活かし、安全・安心な学校給食の提供を行う。	
平成25年度の内容	活動内容	活動指標
	小中学校児童に、安価で安全・安心な学校給食の提供	稼働日数 平均 206日

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
異物混入件数	件	—	35件	—	0件
地元農産物（野菜）の使用率	%	—	58.29%	—	60%以上

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円			284,240,000
補正予算		円				
合計		円			284,240,000	286,237,000
決算（見込）額 A			円		281,311,417	286,237,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円			237,128,575	244,127,000
	一般財源	円			44,182,842	42,110,000
職員数	正規職員	人			6.60	6.60
	嘱託職員	人			14.70	14.70
	人件費 B	円			74,980,500	74,980,500
総事業費 A+B			円		356,291,917	361,217,500
市民1人当たりコスト			円		7,963	8,150

目標に対する成果の状況分析	異物混入件数を減らし、地元農産物を優先的に使用して、安全・安心な学校給食の提供を行った。	
平成26年度以降の実施方針	充実・拡大 重点化	異物混入件数を減らし、地元農産物を優先的に使用して、安全・安心な学校給食の提供を行う。

事務事業名		生涯学習推進事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	生涯学習課
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	生涯学習推進係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8261
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	1目	社会教育総務費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	一人ひとりが自由に学び楽しめるようにする。また、その成果を発表できるようにする。
	現状・課題	学びの成果を適切に生かすことのできる機会を確保する。		
市が行う理由及びその根拠	その他	中野市生涯学習基本構想、第2次子ども読書活動推進計画		
事務事業概要	中野市生涯学習基本構想のもとに、市民の学習活動の促進はもとより、市民と行政が、一体となって生涯学習のまちづくりを推進する。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	生涯学習市民のつどい開催		H26.2.16、H26.3.22	
	中野まなびい塾開催		計26回、延べ749人	
	生涯学習情報の発行		年4回発行	
中野市子ども読書活動推進事業		ブックリスト発行		

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
中野まなびい塾参加者	人	—	749	—	750

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		749,000	720,000
補正予算		円				
合計		円		749,000	720,000	1,722,000
決算（見込）額 A			円	588,658	589,058	1,722,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		588,658	589,058	1,722,000
職員数	正規職員	人		1.02	1.02	1.02
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		6,747,300	6,733,020	6,733,020
総事業費 A+B			円	7,335,958	7,322,078	8,455,020
市民1人当たりコスト			円	162	164	191

目標に対する成果の状況分析	市民へ学びの場を提供できた。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	従前どおり実施する。
	重点化	

事務事業名		文化財保護・保存管理事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	節	3節	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	項	1項	文化財の保存と活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	市民の地域文化に対する意識の向上を図る。
現状・課題	文化財を適切に保存管理する費用及び活用する費用が必要。社会教育・学校教育等との連携により、啓発及び活用を図る必要がある。			
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	文化財保護法、中野市文化財保護条例		
事務事業概要	文化財の指定、啓発、管理及び活用を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	中野市文化財保護審議会の開催		2回開催	
	十三崖チョウゲンボウ生態環境調査		延べ18日・42人	
	指定文化財保存活用謝礼		53件・517,500円	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
文化財の保護・保存件数（指定文化財数）	件	—	68	—	68

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		7,169,000	10,453,000
補正予算		円		2,428,000	998,000	
合計		円		9,597,000	11,451,000	10,262,000
決算（見込）額 A			円	8,949,247	9,091,768	10,262,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		8,949,247	9,091,768	10,262,000
職員数	正規職員	人		1.28	1.28	1.03
	嘱託職員	人		0.75	0.75	1.75
	人件費 B	円		10,075,200	10,052,030	10,538,780
総事業費 A+B		円		19,024,447	19,143,798	20,800,780
市民1人当たりコスト		円		421	428	469

目標に対する成果の状況分析	減失解除により1件減となったが、新たに1件指定となった。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	従前どおり実施する。
	—	



事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	節	3節	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	項	1項	文化財の保存と活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲や遺跡の全体像を知ることができる。
現状・課題	周知の埋蔵文化財包蔵地を発掘調査により、記録保存する必要がある。 発掘による遺跡の範囲・遺構の分布状況調査から、正確な遺跡の全体像を解明する必要がある。			
市が行う理由 及びその根拠	義務的自治事務	文化財保護法		
事務事業概要	周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等に伴う記録作成のための発掘調査を行う。 埋蔵文化財調査の必要がある場合の発掘調査を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	笠倉遺跡・笠倉館（森の家）跡発掘調査		(2,671㎡) 2遺跡	
	柳沢遺跡範囲確認調査		(144㎡) 1遺跡	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
周知の埋蔵文化財包蔵地	箇所	—	総数256	—	総数256

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		22,090,000	17,966,000
補正予算		円		-18,118,000	-7,317,000	
合計		円		3,972,000	10,649,000	6,964,000
決算（見込）額 A			円	3,322,988	10,522,899	6,964,000
財源内訳	国庫支出金	円			7,417,000	
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		3,322,988	3,105,899	6,964,000
職員数	正規職員	人		1.27	1.27	1.02
	嘱託職員	人		1.25	0.25	0.25
	人件費 B	円		11,081,050	8,917,520	7,267,270
総事業費 A+B		円		14,404,038	19,440,419	14,231,270
市民1人当たりコスト		円		319	434	321

目標に対する 成果の状況分析	2014改訂版遺跡詳細分布図により、市民へ周知した。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	従前どおり実施する。
	—	

事務事業名		高遠山古墳保存整備事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	節	3節	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	項	1項	文化財の保存と活用	内線電話	8262
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	貴重な文化財であるため、復元・保存する。
現状・課題	東日本最古級の古墳であり、歴史を考えるうえで極めて重要な古墳であるため、復元・保存する。			
市が行う理由 及びその根拠	その他	中野市が所有者であるため（長野県文化財保護条例）		
事務事業概要	崩落の進んでいる前方後円墳を復元する。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	高遠山古墳整備工事設計監理業務委託		一式	
	高遠山古墳整備工事		補強土壁工 L=36.7m	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
復元・保存整備率	%	—	47	—	53

事務事業 コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		10,000,000	10,000,000
補正予算		円		-1,773,000		
合計		円		8,227,000	10,000,000	10,000,000
決算（見込）額 A			円	8,225,700	9,740,850	10,000,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円		3,046,000	3,027,000	3,046,000
	市債	円				
	その他特定財源	円				
職員数	一般財源	円		5,179,700	6,713,850	6,954,000
	正規職員	人		1.27	1.27	1.02
	嘱託職員	人		0.25	0.25	0.25
人件費 B		円		8,937,050	8,917,520	7,267,270
総事業費 A+B		円		17,162,750	18,658,370	17,267,270
市民1人当たりコスト		円		380	417	390

目標に対する 成果の状況分析	保存工事全体の47%の推進を図ることができた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	従前どおり実施する。
	重点化	

事務事業名		山田家資料館地域資料調査事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	3節	地域の歴史・文化の保存と活用	課・室	生涯学習課
	項	1項	文化財の保存と活用	係	文化財係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8262
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	計上	
	目	2目	文化財保護費	実施期間	
				平成24年度 ~ 平成30年度	

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	資料の基礎調査を進め、貴重な文化遺産の保護・保存を進め、その啓発を図る。
	現状・課題	（仮称）山田家資料館収蔵資料の調査が完了したのから報告書を刊行し又、特別展示会を開催している。今後は文化遺産の重要性等を周知するための有効な方法の検討が必要である。			
市が行う理由及びその根拠	その他	中野市が所有者であるため（長野県文化財保護条例）			
事務事業概要	（仮称）山田家資料館及び中野市域に所在する歴史資料群の調査研究と公開を行う。				
平成25年度 の内容	活動内容			活動指標	
	ふるさとレポート発表会（中野市立博物館主催）における成果発表			1回	
	報告書『山田家のくらしと文化 - 書画・工芸編 - 』の刊行			400部	
	山田家資料館地域資料調査の実施			4回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
ふるさとレポート発表会来場者数	人	—	32	—	40
（仮称）山田家資料館特別展示等の来館者数	人	—	925	—	1,000

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		2,300,000	3,491,000
補正予算		円				
合計		円		2,300,000	3,491,000	2,240,000
決算（見込）額 A			円	1,778,635	2,447,980	2,240,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		1,778,635	2,447,980	2,240,000
職員数	正規職員	人		1.28	1.28	1.03
	嘱託職員	人		0.75	0.75	1.75
	人件費 B	円		10,075,200	10,052,030	10,538,780
総事業費 A+B		円		11,853,835	12,500,010	12,778,780
市民1人当たりコスト		円		262	279	288

目標に対する成果の状況分析	山田家資料館地域資料調査の成果をもとに展示を行った。その結果、市民の歴史資料に対する関心が深まり、平成25年度は925人が（仮称）山田家資料館に来館した。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	（仮称）山田家資料館及び中野市域に所在する歴史資料群の調査研究及び報告書の刊行等を行う。
	重点化	

事務事業名		中央公民館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	中央公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	344
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	公民館利用者	安全かつ快適に施設利用ができる。	
現状・課題	建設から38年が経過し、施設設備の劣化や故障箇所が増える傾向にある。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	貸館、施設設備の保守点検、破損及び不便箇所の修繕を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	施設の貸館		利用回数 2,140回
	施設修繕		修繕数 11回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設利用者数	人	—	37,522	—	47,000

事務事業 コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		13,292,000	9,218,000
補正予算		円				
合計		円		13,292,000	9,218,000	9,376,000
決算（見込）額 A			円	10,012,488	8,539,735	9,376,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		374,338	396,535	340,000
	一般財源	円		9,638,150	8,143,200	9,036,000
職員数	正規職員	人		1.51	1.71	1.51
	嘱託職員	人		0.80	0.60	0.80
	人件費 B	円		11,703,850	12,569,910	11,677,110
総事業費 A+B			円	21,716,338	21,109,645	21,053,110
市民1人当たりコスト			円	481	472	475

目標に対する 成果の状況分析	耐震補強工事により、有事における安全も確保されることとなった。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き、安全かつ快適な施設利用ができるよう、施設管理に努める。
	—	

事務事業名		中央生涯学習推進事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	中央公民館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	344
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	主体的な学習と課題解決を図るための生涯学習の場に参加できる。
	現状・課題	変化する社会の中で市民ニーズの把握に努め、各種講座等を開催している。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法		
事務事業概要	各種講座・文化祭（文化・芸能）の開催、地域（分館活動）への支援を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	各種講座・文化祭・支援事業の実施回数		304回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
講座等への参加者数	人	—	5,733	—	6,000
文化祭等への参加者数	人	—	3,100	—	3,100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		14,735,000	14,619,000
補正予算		円				
合計		円		14,735,000	14,619,000	16,722,000
決算（見込）額 A			円	13,698,153	12,646,960	16,722,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円			103,710	72,000
一般財源	円		13,698,153	12,543,250	16,650,000	
職員数	正規職員	人		1.97	2.47	1.97
	嘱託職員	人		1.90	1.40	1.90
	人件費 B	円		17,105,150	19,296,270	17,064,270
総事業費 A+B		円		30,803,303	31,943,230	33,786,270
市民1人当たりコスト		円		682	714	762

目標に対する 成果の状況分析	アンケート等により市民ニーズの把握に努め、内容の充実を図りながら、講座等を実施し、一定の成果を上げることができた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	数年間継続して実施している講座については、参加者の減少及び固定化の面もうかがえることから、新しい参加者の取り込みも図っていきたい。
	—	

事務事業名		中央公民館維持整備事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	中央公民館
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	係	
	項	2項	生涯学習施設の充実	内線電話	344
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	3目	公民館費	平成24年度 ~ 平成25年度	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	公民館利用者	安全かつ快適な利用が維持できる。	
現状・課題	建設から38年が経過し、施設設備の劣化や故障箇所が増える傾向にある。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	老朽化及び破損、不便箇所の改修を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	中野市中央公民館ほか耐震補強工事		1件
	中野市中央公民館非常用自家発電装置入替工事		1件
	中野市中央公民館高圧受電設備改修工事		1件
	消防誘導灯改修工事		1件

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設設備の改修箇所改修	件	—	4	—	2

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		2,000,000	71,230,000
補正予算		円				
合計		円		2,000,000	71,230,000	3,764,000
決算（見込）額 A	国庫支出金		円	768,000	27,221,000	
	県支出金		円			
	市債		円		25,200,000	
	その他特定財源		円			1
	一般財源		円	1,122,000	16,923,940	3,763,999
職員数	正規職員	人		0.52	0.72	0.52
	嘱託職員	人		0.20		0.20
	人件費 B	円		3,868,600	4,752,720	3,859,920
総事業費 A+B		円		5,758,600	74,097,660	7,623,920
市民1人当たりコスト		円		127	1,656	172

目標に対する 成果の状況分析	建設後38年が経過する中で、老朽化による不備箇所が増えてきている。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	計画的な施設改修を進めていきたい。
	—	

事務事業名		北部公民館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	北部公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8001
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	公民館利用者	安全かつ快適に施設利用ができる。	
現状・課題	建設から27年が経過しているため、施設設備の劣化や故障箇所が増える傾向にある。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	貸館、施設設備の保守点検、破損及び不便箇所の修繕を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	施設の貸館		利用回数 1,129回
	施設修繕		修繕数 15回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設利用者数	人	—	15,722	—	15,000

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円	6,925,000	6,612,000	7,137,000
補正予算		円				
合計		円	6,925,000	6,612,000	7,137,000	
決算（見込）額 A			円	6,804,760	6,376,797	7,137,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円	154,842	108,757		
	一般財源	円	6,649,918	6,268,040	7,137,000	
職員数	正規職員	人	0.74	0.39	0.39	
	嘱託職員	人		0.35	0.35	
	人件費 B	円	4,895,100	3,322,340	3,322,340	
総事業費 A+B			円	11,699,860	9,699,137	10,459,340
市民1人当たりコスト			円	259	217	236

目標に対する 成果の状況分析	日常の施設管理に努めた結果、利用者の安全が図られた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き、安全かつ快適な施設利用ができるよう、施設管理に努める。
	—	

事務事業名		北部公民館生涯学習推進事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	北部公民館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8001
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	主体的な学習と課題解決を図るための生涯学習の場に参加できる。
	現状・課題	変化する社会の中で市民ニーズの把握に努め、各種講座等を開催している。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法			
事務事業概要	各種講座及び文化祭(文化・芸能)を開催する。				
平成25年度 の内容	活動内容			活動指標	
	各種講座及び文化祭の実施回数			63回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
講座等への参加者数	人	—	1,167	—	1,100
文化祭への参加者数	人	—	940	—	900

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		1,250,000	1,433,000
補正予算		円			2,514,000	
合計		円		1,250,000	3,947,000	4,039,000
決算（見込）額 A			円	1,157,525	3,881,556	4,039,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		1,157,525	3,881,556	4,039,000
職員数	正規職員	人		0.74	0.39	0.39
	嘱託職員	人			0.35	0.35
	人件費 B	円		4,895,100	3,322,340	3,322,340
総事業費 A+B			円	6,052,625	7,203,896	7,361,340
市民1人当たりコスト			円	134	161	166

目標に対する 成果の状況分析	アンケート等により市民ニーズの把握に努め、内容の充実を図りながら、講座等を実施し、一定の成果を上げることができた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	参加者数が少ない講座もあるため、魅力的な新規講座の開催にも努めたい。
	—	



事務事業名		北部公民館維持整備事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	北部公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8001
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	公民館利用者	安全かつ快適な利用ができる。	
現状・課題	建設から27年が経過しているため、施設設備の劣化や故障箇所が増える傾向にある。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	老朽化および破損、不便箇所の改修を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	ガラス飛散防止フィルム貼付工事		1件

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設設備の改修箇所改修	件	—	1	—	1

事務事業 コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円			1,369,000
補正予算		円				
合計		円			1,369,000	585,000
決算（見込）額 A			円		540,000	585,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円			540,000	585,000
職員数	正規職員	人			0.32	0.32
	嘱託職員	人			0.30	0.30
	人件費 B	円			2,753,420	2,753,420
総事業費 A+B			円		3,293,420	3,338,420
市民1人当たりコスト			円		74	75

目標に対する 成果の状況分析	建設後27年が経過する中で、老朽化による不備箇所が増えてきている。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	計画的な施設改修を進めていきたい。
	—	

事務事業名		西部公民館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	西部公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8003
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	公民館利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	安全かつ快適に施設利用ができる
現状・課題	建設から23年が経過しているため、施設設備の劣化や故障箇所が増える傾向にある			
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法		
事務事業概要	貸館、施設設備の保守点検、破損及び不便箇所の修繕を行う			
平成25年度 の内容	活動内容			活動指標
	施設の貸館			利用回数 2,109回
	施設修繕			修繕数 1回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設利用者数	人	—	25,241	—	25,000

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		10,678,700	7,610,000
補正予算		円				
合計		円		10,678,700	7,610,000	7,729,000
決算（見込）額 A			円	9,797,823	6,782,044	7,729,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		418,507	392,335	
	一般財源	円		9,379,316	6,389,709	7,729,000
職員数	正規職員	人		0.39	0.39	0.39
	嘱託職員	人		0.35	0.35	0.35
	人件費 B	円		3,330,250	3,322,340	3,322,340
総事業費 A+B		円		13,128,073	10,104,384	11,051,340
市民1人当たりコスト		円		291	226	249

目標に対する 成果の状況分析	日常の施設管理に努めた結果、施設利用回数の面でも一定の利用が図られた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き、安全かつ快適な施設利用ができるよう、施設管理に努める。
	—	

事務事業名		西部公民館生涯学習推進事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	西部公民館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8003
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	主体的な学習と課題解決を図るための生涯学習の場に参加できる
	現状・課題	変化する社会の中で市民ニーズの把握に努め、各種講座等を開催している		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法		
事務事業概要	各種講座及び文化祭を開催する。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	各種講座及び文化祭の実施回数		54回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
講座への参加者数	人	—	1,548	—	1,500
文化祭への参加者数	人	—	1,515	—	1,500

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		1,067,000	3,985,000
補正予算		円				
合計		円		1,067,000	3,985,000	3,945,000
決算（見込）額 A			円	913,008	3,851,656	3,945,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		913,008	3,851,656	3,945,000
職員数	正規職員	人		0.39	0.39	0.39
	嘱託職員	人		0.35	0.35	0.35
	人件費 B	円		3,330,250	3,322,340	3,322,340
総事業費 A+B			円	4,243,258	7,173,996	7,267,340
市民1人当たりコスト			円	94	160	164

目標に対する成果の状況分析	アンケート等により市民ニーズの把握に努め、内容の充実を図りながら、講座等を実施し、一定の成果を上げることができた。		
平成26年度以降の実施方針	現状維持	地域性を生かした新規講座の開催	
	—		

事務事業名		西部公民館維持整備事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	西部公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8003
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	公民館利用者	安全かつ快適な利用ができる	
現状・課題	建設から23年が経過しているため、老朽化または破損箇所が増える傾向にある		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	老朽化および破損、不便箇所の改修を行う		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	エレベーター設備機能維持工事		1件
	火災通報装置改修工事		1件

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設設備の改修箇所改修	件	—	1	—	

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		14,686,000	1,428,000
補正予算		円				
合計		円		14,686,000	1,428,000	
決算（見込）額 A			円	13,548,150	1,427,118	
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		13,548,150	1,427,118	
職員数	正規職員	人		0.32	0.32	
	嘱託職員	人		0.30	0.30	
	人件費 B	円		2,760,000	2,753,420	
総事業費 A+B			円	16,308,150	4,180,538	
市民1人当たりコスト			円	361	93	

目標に対する 成果の状況分析	建設後23年が経過する中で、老朽化による不備箇所が増えてきている。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	必要箇所へ維持修繕を行っていく
	—	

事務事業名		豊田公民館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	豊田公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8208
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	公民館利用者	安全かつ快適に施設利用ができる。	
現状・課題	建設から17年が経過し、施設設備の劣化や故障箇所が増える傾向にある。		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法	
事務事業概要	貸館、施設設備の保守点検、破損及び不便箇所の修繕を行う。		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	施設の貸館		利用回数 695回
	施設修繕		修繕数 9回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設利用人数	人	—	17,461	—	19,000

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		11,629,000	10,055,000
補正予算		円				
合計		円		11,629,000	10,055,000	10,452,000
決算（見込）額 A			円	11,281,432	9,744,595	10,452,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		409,000	408,000	408,000
	一般財源	円		11,220,000	9,647,000	10,044,000
職員数	正規職員	人		0.80	0.55	0.55
	嘱託職員	人			1.00	1.00
	人件費 B	円		5,292,000	5,767,550	5,767,550
総事業費 A+B			円	16,573,432	15,512,145	16,219,550
市民1人当たりコスト			円	367	347	366

目標に対する 成果の状況分析	日常の施設管理に努めた結果、利用者数及び施設利用回数の面で、他地域と比較しても高い成果を上げることができた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	地域コミュニティの拠点として、貸館以外の利用ニーズを捉えた備品配置等の整備を行う。
	—	

事務事業名		永田地区館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	豊田公民館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8208
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民		意図（どのような状態にしたいのか）	安全かつ快適に施設利用ができる。
	現状・課題	遠隔地にあり、本館職員のみでは対応できないため、市民課職員の協力を得て運営している。			
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法			
事務事業概要	貸館を行う。				
平成25年度 の内容	活動内容			活動指標	
	施設の貸室			利用回数 38回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
施設利用人数	人	—	1,829	—	1,850

事務事業 コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		244,000	244,000
補正予算		円				
合計		円		244,000	244,000	244,000
決算（見込）額 A			円	243,600	243,600	244,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円			1,000	1,000
	一般財源	円		244,000	243,000	243,000
職員数	正規職員	人		0.21	0.11	0.11
	嘱託職員	人			0.20	0.20
	人件費 B	円		1,389,150	1,153,510	1,153,510
総事業費 A+B			円	1,632,750	1,397,110	1,397,510
市民1人当たりコスト			円	36	31	32

目標に対する 成果の状況分析	安定した数の利用があった。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き、現状の運営方法を維持する。
	—	

事務事業名		豊田生涯学習推進事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	豊田公民館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8208
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	3目	公民館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	主体的な学習と課題解決を図るための、生涯学習の場に参加できる。
	現状・課題	変化する社会の中で市民ニーズの把握に努め、各種講座等を開催している。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	社会教育法		
事務事業概要	各種講座及び文化祭(文化・芸能)を開催する。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	各種講座等及び文化祭の実施回数		87回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
講座等の参加者数	人	—	3,563	—	3,500
文化祭への参加者数	人	—	611	—	620

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		1,513,000	1,627,000
補正予算		円				
合計		円		1,513,000	1,627,000	1,798,000
決算（見込）額 A			円	1,299,238	1,289,802	1,798,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円			1,000	1,000
	一般財源	円		1,513,000	1,626,000	1,797,000
職員数	正規職員	人		0.84	0.44	0.44
	嘱託職員	人			0.80	0.80
	人件費 B	円		5,556,600	4,614,040	4,614,040
総事業費 A+B			円	6,855,838	5,903,842	6,412,040
市民1人当たりコスト			円	152	132	145

目標に対する 成果の状況分析	アンケート等により市民ニーズの把握に努め、内容の充実を図りながら、講座等を実施し、一定の成果を上げることができた。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	受け手側として価値を持てる内容づくりを参加者と進め、地域内で相互に高め合えるイベントにしていく。
	—	

事務事業名		図書館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	図書館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8005
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	4目	図書館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	図書館利用者	快適で利用しやすい施設として、利用者が増える。
現状・課題	平成5年に開館し、利用者が増加したが、現在は、利用者数が減少傾向である。	
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	図書館法
事務事業概要	図書館施設の維持管理事業	
平成25年度 の内容	活動内容	
	和室畳替	1回
	照明器具修繕	1回
	清掃委託	1回
	空調設備機器保守点検委託	1回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
図書館利用者数	人	144,000	148,180	達成	145,000

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		61,593,000	11,455,000
補正予算		円		-1,153,000		
合計		円		60,440,000	11,455,000	11,987,000
決算（見込）額 A			円	59,778,478	11,092,563	11,987,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円		613,350	527,532	
	市債	円				
	その他特定財源	円		91,100		
	一般財源	円		59,074,028	10,565,031	11,987,000
職員数	正規職員	人		4.90	0.91	1.27
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		32,413,500	6,006,910	8,383,270
総事業費 A+B			円	92,191,978	17,099,473	20,370,270
市民1人当たりコスト			円	2,040	382	460

目標に対する 成果の状況分析	20周年記念事業や開館時間延長試行等により、入館者数は増加したと考えられる。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き適正な維持管理に努める。
	—	



事務事業名		図書館運営事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	図書館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8005
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	計上	
	目	4目	図書館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	図書館利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	多くの市民が図書館の理解を深め、より多くの市民が図書館を利用し、貸出冊数が増える。
	現状・課題	平成5年に開館し、貸出冊数が増加したが、現在は、貸出冊数が減少傾向である。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	図書館法		
事務事業概要	親子ふれあいセミナー、創作教室、図書館まつり、親子読書活動セミナー、読み聞かせステップアップ講座、文学講座、絵本の読み聞かせ出前事業、としょかんプチキネマを行う。			
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標	
	絵本の読み聞かせ出前事業		33回	
	文学講座の開催		2回	
	創作教室の開催		5回	
	開館20周年記念事業の開催		2回	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
図書の貸出冊数	冊	176,000	173,802	未達成	174,000
文学講座の参加者数	人	100	124	達成	100

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円			28,782,000
補正予算		円			1,036,000	
合計		円			29,818,000	30,009,000
決算（見込）額 A			円		28,704,674	30,009,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円			1,029,336	
	市債	円				
	その他特定財源	円			1,596,725	1,594,000
	一般財源	円			26,078,613	28,415,000
職員数	正規職員	人			3.63	3.63
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円			23,961,630	23,961,630
総事業費 A+B			円		52,666,304	53,970,630
市民1人当たりコスト			円		1,177	1,218

目標に対する成果の状況分析	活字離れ等より、貸出冊数が増えず、特に児童書の貸出冊数が減少しているが、蔵書冊数は毎年増加している。	
平成26年度以降の実施方針	充実・拡大 重点化	絵本の読み聞かせ出前事業や開館時間の延長、ボランティア団体支援など、今後もいろいろな取組みにより、貸出冊数の増加に努める。

事務事業名		ブックスタート事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	図書館
	項	1項	生涯学習機会の提供	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8005
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	4目	図書館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	乳幼児の市民	乳幼児期から親子で読書に親しみ、児童書の貸出冊数が増える。
現状・課題	平成14年度から事業を実施し、市民に事業が定着してきている。その後のフォローが課題となっている。	
市が行う理由 及びその根拠	その他	中野市子ども読書活動推進計画
事務事業概要	乳幼児7ヵ月健診時に絵本2冊のプレゼント、乳幼児を対象にしたおはなし会等を行う。	
平成25年度 の内容	活動内容	
	絵本2冊のプレゼント	360人
	おはなし会の開催	54回
	おはなしタイムの開催	11回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
児童書の貸出冊数	冊	66,000	66,333	達成	66,000

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		774,000	774,000
補正予算		円				
合計		円		774,000	774,000	757,000
財源内訳	決算（見込）額 A		円	772,675	2,951,818	757,000
	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
職員数	一般財源	円		772,675	2,951,818	757,000
	正規職員	人		0.20	0.20	0.20
	嘱託職員	人		1.00	1.00	1.00
人件費 B		円		3,467,000	3,457,200	3,457,200
総事業費 A+B		円		4,239,675	6,409,018	4,214,200
市民1人当たりコスト		円		94	143	95

目標に対する 成果の状況分析	こども人数の減少により、児童書の貸出冊数が減少していると考えられる。	
平成26年度以降 の実施方針	現状維持	引き続き、乳幼児から読書に親しむ環境づくりに努める。
	—	

事務事業名		図書館維持整備事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	図書館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	会計	一般会計		内線電話	8005
	款	10款	教育費	実施計画	
	項	4項	社会教育費	未計上	
	目	4目	図書館費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	図書館利用者	乳幼児から高齢者までの、すべての利用者が利用しやすい図書館とし、苦情件数が減る。	
現状・課題	平成5年に開館し、施設が老朽化してきており、計画的に改修工事等が必要である。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	図書館法	
事務事業概要	図書館施設の維持整備		
平成25年度 の内容	活動内容		活動指標
	トイレ改修工事		2ヶ所
	樹木剪定業務委託		22本

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
図書館施設への苦情件数	件	10件以下	8件	達成	10件以下

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円			3,467,000
補正予算		円				
合計		円			3,467,000	
決算（見込）額 A			円		3,608,850	
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円			3,608,850	
職員数	正規職員	人			0.36	
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円			2,376,360	
総事業費 A+B			円		5,985,210	
市民1人当たりコスト			円		134	

目標に対する成果の状況分析	施設に対する苦情を、計画的な改修等により、施設の充実が図られている。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持	計画的に、改修整備していく。
	—	

事務事業名		博物館管理事業		成果点検日	H26.9.1
総合計画 体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	部・局	教育委員会事務局
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	課・室	中野市立博物館
	項	2項	生涯学習施設の充実	係	
予算体系	内線電話				8122
	会計	一般会計			実施計画
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
目	5目	博物館費	平成21年度 ~		

目指す姿	対象（誰のために）	施設利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	博物館を訪れる利用者のために施設、設備を維持管理して、多くの人に利用していただく。
	現状・課題	博物館は、建築後20年以上経過しており、建築物及び設備の経年劣化が顕著になっており、早期に長寿命化の対策が必要である。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	博物館法、中野市立博物館条例・同施行規則		
事務事業概要	施設の清掃業務、保守点検を行う。			
平成25年度 の内容	活動内容			活動指標
	施設設備保守点検、清掃等委託			9件
	展示関係演示具作成業務委託			1件
	剥製作成業務			2件
資料整理修復作業業務委託			1件	

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
博物館利用者数	人	10,880	8,049	未達成	8,049
博物館研修室貸出度数	回	41	34	未達成	34

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		16,122,000	12,352,000
補正予算		円		37,550,000		
合計		円		53,672,000	12,352,000	13,261,000
決算（見込）額 A			円	48,977,535	11,884,667	13,261,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		2,335,008	2,356,027	
一般財源	円		46,642,527	9,528,640	13,261,000	
職員数	正規職員	人		1.64	1.24	1.24
	嘱託職員	人		0.60	1.00	1.00
	人件費 B	円		12,135,000	10,322,240	10,322,240
総事業費 A+B			円	61,112,535	22,206,907	23,583,240
市民1人当たりコスト			円	1,352	496	532

目標に対する成果の状況分析	平成24年12月から25年5月に、柳沢遺跡の常設展示施設を設置するため展示室を閉鎖したため、また平成25年4月から5月に工事を行ったため、入場者数が対前年度比で減少した。	
平成26年度以降の実施方針	充実・拡大 重点化	博物館は、建築物及び設備の経年劣化が顕著になっており、長寿命化の対策を施行する。

事務事業名		博物館運営事業		成果点検日	H26.9.1
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	章	6章	地域が育て地域が守る教育と文化のまちづくり	課・室	中野市立博物館
	節	2節	学びふれあう社会教育・生涯学習	係	
	項	1項	生涯学習機会の提供	内線電話	8122
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	5目	博物館費	平成21年度～	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	施設利用者	生涯学習の一環として地域の科学的な見地を基盤とした展示、講座、講演会などを行い、利用者が学術及び文化に触れ、学んでいただく。	
現状・課題	博物館に来館するための公共交通機関がない。地域の学術的な見地を得るための時間の確保が必要である。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	博物館法、中野市立博物館条例・同施行令	
事務事業概要	展示、講座、講演会、調査、プラネタリウムに関する運営を行う。		
平成25年度の内容	活動内容		活動指標
	・常設展示、企画展示		企画展示1回開催
	・博物館講座		96回開催
	・博物館講演会		1回開催
	・プラネタリウム投影		土曜3回・日祝日4回

成果目標の項目	単位	平成25年度			平成26年度
		目標	成果	達成状況	目標
来館者があった企画展示	回	1	1	達成	2
利用された博物館講座	回	94	96	達成	83

事務事業コスト	項目		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	予算額	当初予算	円		8,803,000	12,502,000
補正予算		円				
合計		円		8,803,000	12,502,000	12,862,000
決算（見込）額 A			円	7,235,093	10,573,436	12,862,000
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		1,007,510	965,110	
	一般財源	円		6,227,583	9,608,326	12,862,000
職員数	正規職員	人		2.46	1.86	1.86
	嘱託職員	人		2.40	3.00	3.00
	人件費 B	円		21,418,500	18,688,860	18,688,860
総事業費 A+B			円	28,653,593	29,262,296	31,550,860
市民1人当たりコスト			円	634	654	712

目標に対する成果の状況分析	来館者によって利用された回数は、目標を達成した。	
平成26年度以降の実施方針	現状維持 重点化	生涯学習の一環として地域の科学的な見地を基盤とした展示、講座、講演会、調査、プラネタリウムの運営を行う。

## 平成 25 年度 教育委員会の会議及び委員の主な活動状況

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行します。「教育なかの」の発行、教育委員会会議録をホームページで公開するなど、市民に開かれた教育委員会を目指しています。

### 1 委員会の開催状況

(1) 定例会の開催回数	12回
(2) 臨時会の開催回数	3回
議案等件数	
・議案	34件
うち 予算・決算	5件
人事案件	21件
その他	8件
・協議	20件
・報告	26件
・その他	14件

2 協議会の開催回数	13回
------------	-----

### 3 教育委員研修視察

#### ○茨城県北茨城市

野口雨情生家・資料館美術館、六角堂、茨城県天心記念五浦美術館

(視察事項)

- ・施設概要について
- ・施設の機能、運営について
- ・北茨城市教育委員会との交流会

#### ○関東甲信越静岡市町村連合会教育委員会研修会（茨城県石岡市つくば国際会議場）

##### 1 文部科学省行政説明

説明内容 「学校教材及び学校図書の整備等について」

説明者 文部科学省初等中等教育局財務課教育財政室長 丸山洋司

##### 2 講演

「新しい世界を開くイノベーション（技術革新）-私の歩み」

講師 ノーベル物理学賞受賞者 江崎玲於奈

### 4 教育委員による学校訪問

県主幹指導主事の学校訪問の際に同席し、教育現場の課題等を実地に見聞するとともに改善等を指示した。

### 5 「教育なかの」の発行

「広報なかの」の紙面を活用し、「教育なかの」を春夏秋冬の年4回発行した。

### 6 入学式・卒業式等への出席

児童生徒の姿や学校の状況を実地に見聞することができる機会として、入学式、卒業式、運動会、学校祭等の学校行事に参加した。

平成25年度 「教育なかの」 各号テーマ一覧  
(年間テーマ) — 教育を拓く知恵 —

発行月	主テーマ	サブテーマ
5月	<p>重点施策と主な教育予算</p>                      <p>新しい校長先生の紹介、小学校入学 児童保護者の皆さん</p>	<p>○重点施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中連携教育」の推進</li> <li>・学ぶ「ちから」の育成</li> <li>・学習機会の提供</li> <li>・安心安全な学校づくり</li> <li>・少子化時代の学校教育</li> </ul> <p>○主な教育予算</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「生きる力」を育む学校教育           <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員配置事業</li> <li>・キャリア教育講演会事業</li> <li>・夢の教室開催事業</li> </ul> </li> <li>2 学びふれあう生涯学習社会のまちづくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高遠山古墳保存事業</li> <li>・(仮称)山田家資料館総合調査事業</li> <li>・柳沢遺跡出土品収蔵展示事業</li> <li>・図書館開館時間延長事業</li> </ul> </li> <li>3 信頼される教育環境の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護、準要保護児童生徒就学援助事業</li> <li>・中央公民館耐震補強事業</li> <li>・小中学校耐震工事、校庭整備</li> <li>・小中学校熱中症対策事業</li> <li>・小中学校AED収納箱設置事業</li> </ul> </li> </ol> <p>○新しい校長先生の紹介 (5小中学校長)</p> <p>○小学校入学児童保護者の皆さんへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびと自分の力を伸ばす1年生を 目指して(子どもの自立心を育てるための 接し方)</li> </ul>



発行月	主テーマ	サブテーマ
8月	重点施策の内容について  小学校英語教育の現状について (第1回)	◎安心・安全な学校づくりについて ○こどもたち一人一人が位置づく学級を 目指して ○学校の主な設備工事について ◎学ぶ「ちから」の育成について ○日々の授業改善について ○地域から学ぶ  ◎英語の時間が待ち遠しいな ○誰が教えているの、目標は ○ここは日本じゃないみたい ○中学の先生って迫力あるなあ ○英語の時間が待ち遠しい
11月	学習機会の提供について  小学校英語教育の現状について (第2回)	◎公民館について ◎博物館について ◎図書館について  ◎これからの小学校外国語教育 ○聞きだす力の目標達成は ○ゲームを有効に生かそう ○英語が難しいと思う時 ○これからの英語教室
2月	さらなる学力の向上を目指して	◎南宮中ブロック ○「家庭学習の手引き」 ◎豊田中ブロック ○「おねえちゃんありがとう」 他のブロックの主な連携 ・中野平中学校ブロック ・高社中学校ブロック

	一人一人に適した学習支援を願って	○より良い学校生活を送るために ・学習支援の様子について ・学習支援の在り方と今後について 子どもに合った学習環境 就学相談について
--	------------------	--